空気より軽い12A・13Aガス用

空気より軽いガス用 兼用

YAZAKI

お客様用

一般財団法人日本ガス機器検査協会検査合格品

形式名	YF-760(MC)

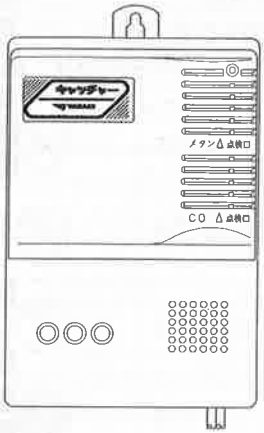
キャッチャー

(家庭用・業務用兼用)

都市ガス・CO警報器

取扱説明書

保証書付



●都市ガス・CO警報器をお取付けいただきありがとうございました。

●この取扱説明書は都市ガス・CO警報器の取扱方法を説明します。

●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解した上で取扱ってください。

●本取扱説明書は、取付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

●本書を紛失された場合は、ガス事業者、または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問合せください。

【日常点検のお願い】
警報器が使えなくなると緑ランプが点滅してお知らせします。
燃焼器をお使いになる前に緑ランプを点検してください。
緑ランプが点滅していたら、最寄りのガス事業者にご連絡ください。

! 必ず行う

もくじ

頁

■ 1．警報器をご使用になる皆様へ 1
■ 2．対象ガス 2
■ 3．各部の名称と働き 2

お客様用

■ 4．主な特長 4
■ 5．ご使用上の注意 5
■ 6．予備コンセントの使用方法 7
■ 7．使　用　方　法 8
■ 8．赤ランプまたは黄ランプが点滅している場合の処置 8
■ 9．「ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と都市ガス警報を発している場合の処置(都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕点灯) 9
■ 10．「ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて 換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置(黄ランプ点灯) 11
■ 11．ガスもれの音声警報と不完全燃焼を知らせる音声警報を交互に発している場合の処置(都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯) 13
■ 12．警報器のお手入れ方法 15
■ 13．アフターサービス 16
■ 14．仕　　様 17

施工される方および警報器をご使用になる皆様へ

■施工される方へのお願い 18
■ 15．設置前のご注意 19
■警報器の確認 19
■ 16．取付け位置の確認 20
■ 17．取付方法 22
■ 18．作動点検 24
■外部装置と接続した場合の注意点および点検方法 30
■お客様へのご説明内容　■お客様への周知事項 31
■施工される方へ 31
保証書 32

■ 1．警報器をご使用になる皆様へ

警報器を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気厳禁
	触れるな
	分解禁止
	必ず行う

■ 2．対象ガス

⚠注意

●都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス又は空気より軽いガス)用の警報器です。
●都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス又は空気より軽いガス)供給区域外ではお使いにならないでください。

■ 3．各部の名称と働き

①電源ランプ（緑）
- ● 電源を入れてから約1分間、緑ランプが点滅します。（警報器の安定時間）
- ● 通常は緑ランプが点灯しています。
- ● 警報器に異常が発生した場合、早い周期の点滅になります。
- ※ 異常時は表紙【日常点検のお願い】を参照ください。

②都市ガス警報ランプ（赤）
- ● 都市ガスを検知すると赤ランプが点滅します。
- ● 都市ガスが規定濃度以上になると、赤ランプが点灯します。
- ※ 点灯時は9ページを参照ください。

③不完全燃焼警報ランプ（CO警報ランプ）（黄）
- ● 不完全燃焼ガスを検知すると、黄ランプが点滅します。
- ● 不完全燃焼ガスが規定濃度以上になると黄ランプが点灯します。
- ※ 点灯時は11ページを参照ください。

④警報スピーカー（音声合成音）
- ● 購入時は音声設定となっています。（ブザー設定を要望される場合はガス事業者の販売員に申しでてください。）

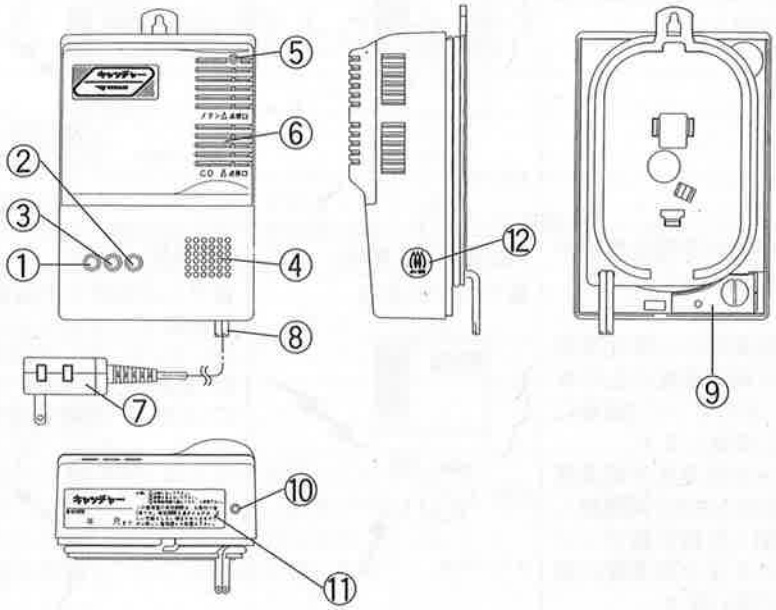
〈注意〉ブザー設定した場合でも、停電等で電源がOFFすると音声警報に戻ります。
- ● 都市ガスのガスもれ警報時には（ピッピッピッピッピッ ガスがもれていませんか）が鳴ります。
- ※ 音声確認ボタンにより、ブザー設定した場合(ピッピッピッピッ)のみの警報が鳴ります。
- ※ 鳴動時は9ページを参照ください。
- ● 不完全燃焼警報時には（ピッポッピッポッ空気がよごれて危険です窓を開けて換気してください）が鳴ります。
- ※ 音声確認ボタンにより、ブザー設定した場合(ピッポッピッポッ)のみの警報が鳴ります。
- ※ 鳴動時は11ページを参照ください。

⑤ガス検知部（都市ガス）
⑥ガス検知部（不完全燃焼ガス）
⑦電源プラグ
- 予備コンセントは最大1490Wまでの電気器具を使用できます。

⑧電源コード
- 長さ2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能）

⑨外部信号線収納カバー
- 戸外ブザー等に接続する時に使用する都市ガス・CO警報外部出力コネクター（白・灰）を収納

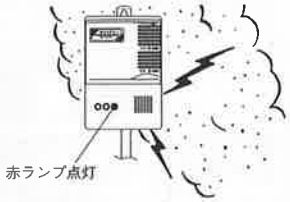
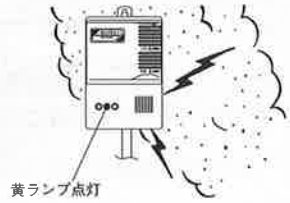
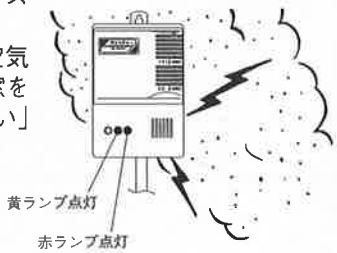
⑩音声確認ボタン穴
⑪有効期限シール
⑫検査合格証



お客様用

4．主な特長

■都市ガス・不完全燃焼警報機能

●都市ガスがもれた場合 警報器周囲の都市ガス濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。	低濃度（注意報） 赤ランプの点滅 	高濃度（警報） 赤ランプ点灯とガスもれ警報音「ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」（音声合成音） 
●ガス機器の不完全燃焼が発生した場合 警報器周囲の一酸化炭素濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。 一酸化炭素濃度が低濃度の場合でも約5分間継続して検知した時は黄ランプ点滅のままで高濃度の警報音が鳴ります。	低濃度（注意報） 黄ランプの点滅 	高濃度（警報） 黄ランプ点灯と不完全燃焼警報音「ピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」（音声合成音） 
●都市ガスがもれて同時にガス機器の不完全燃焼が発生した場合	赤ランプおよび黄ランプ点灯と交互に警報音「ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」「ピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」（音声合成音）  	

■都市ガス・不完全燃焼警報連動機器との接続

●住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品（別売品）をご使用ください。
●戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーは専用品（別売品）をご使用ください。
●マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品（警報器アダプター）が必要になります。
●無線連動システムでは警報を発すると送信機が電波を発信し、受信機が受信して自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

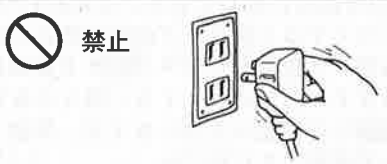
■ 5．ご使用上の注意

⚠警告

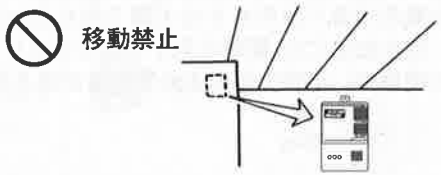
●警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いはしないでください。
（故障の原因となります。）

⚠注意

●警報器の電源プラグは常に通電している専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。（ガスもれ、不完全燃焼していても警報を発しません。）



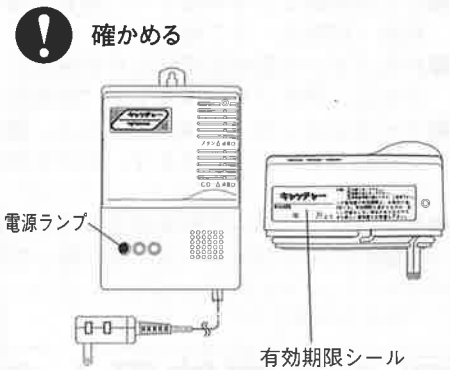
●警報器は取付位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報器の位置を変える必要が生じた場合は、最寄りのガス事業者に依頼してください。（警報の遅れの原因となります。）



●ぬれた手でプラグおよび予備コンセント部分にさわらないでください。
（感電する恐れがあります。）

⚠注意

●日常、電源ランプ（緑）が点灯していることをお確かめください。
●異常時は緑ランプが早い周期の点滅となります。最寄りのガス事業者にご連絡ください。
●警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限シールが貼ってあります。有効期限は、お取付け後5年間です。期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤作動の恐れがあります。



⚠注意

●この警報器は、お取付けいただいた場所近くでのガスもれや一酸化炭素には警報を発してお知らせしますが、他の部屋などで発生したガスもれや一酸化炭素では警報を発しないことがあります。

●浴室、屋外では使用できません。

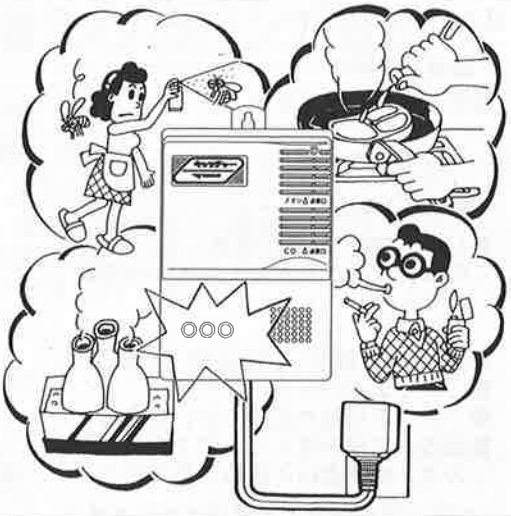
●警報器の近くでラジオ等を使用されると、ノイズ（雑音）が増える場合があります。この様な場合は、警報器から少し距離を離してご使用ください。

※停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約1分間は作動しません。なお約1分後に赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると緑ランプ点灯に変わります。
※殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報音が鳴る場合がありますが、しばらくすると鳴りやみます。
※警報器は多少暖かくなりますが、異常ではありません。(通電によりセンサー部を加熱して使用するため。)
※業務用等で使用される大鍋で湯を沸かす際、点火初期時に一酸化炭素が発生し、不完全燃焼(CO)警報を発する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。
※調理や、空調の熱により警報音が鳴る場合があります。

■殺虫剤などで警報器が作動した場合の注意

お願い　ガスもれ以外でも次のような場合、警報音が鳴ることがありますが、鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

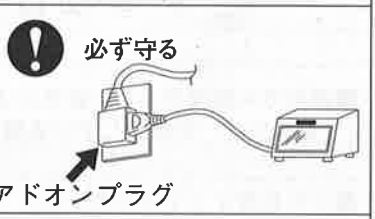
- スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なたばこの煙を警報器にふきかけた場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合、また、アルコール類やくん煙式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- 警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。
  通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。
- 石油ストーブを点消火した場合や、長時間換気せずに使用した場合。



■ 6．予備コンセントの使用方法

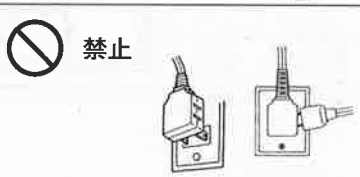
⚠注意

- 警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かずに、警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）をご利用ください。
  ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを超えると火災発生の恐れがあります。



- 警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切（OFF）」にしてください。

- 警報器のプラグ、他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が加熱し、焼損する場合があります。
- 接続した他の電気製品のプラグを抜く時に手前にこじって引き抜いたりしないでください。プラグ部が破損する場合があります。



■ 7．使用方法

①警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警報器の動作
緑ランプが点滅します。

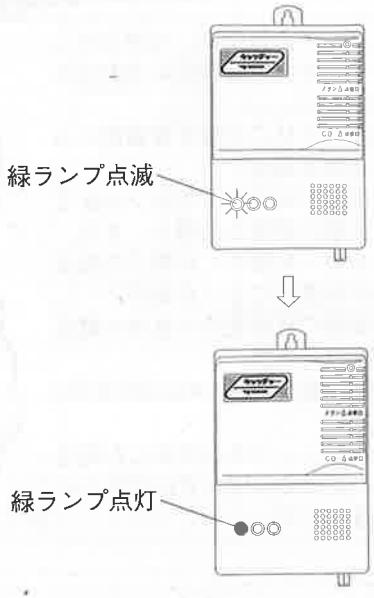
②約1分間お待ちください。

警報器の動作
約1分間は緑ランプが点滅しています。この間にガスがかかっても本体は作動しません。

⇩

約1分間後に緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。
緑ランプの点滅が止まらない場合は、警報器の故障が考えられますので最寄りのガス事業者にご連絡ください。

赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると消灯します。



■ 8．赤ランプまたは黄ランプが点滅している場合の処置

■都市ガス警報ランプ（赤ランプ）または、不完全燃焼警報ランプ（CO警報ランプ）（黄ランプ）が点滅している場合の処置

●次の処置をしてください。

ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

室内の空気がよごれた場合にも、赤と黄ランプが点滅する場合があります。

※外部機器と連動している場合
外部機器は作動しません。
（警報音を発していない場合）

■ 9．「ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」と都市ガス警報を発している場合の処置（都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕点灯）

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

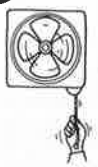
⚠危険　火花などによる爆発の恐れがあります。
警報音が鳴っている間は、次のことは絶対しないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり、切ったりしないでください。

禁止



換気扇のスイッチ等

警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。

禁止

コンセント　抜かない

●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス栓、器具栓を閉めてください。

閉める

3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りのガス事業者へご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

4. ガスが規定のガス濃度以下になれば警報音は自動的に止まりますので、止まってからガスもれの原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

調べる

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアを開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

すぐの入室禁止

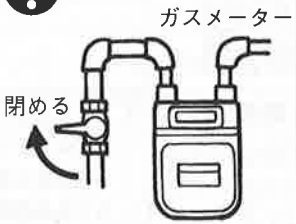
●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らずに、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

外から開ける

2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

閉める

■もれたガスが規定のガス濃度以下になった場合

●ガスが規定のガス濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■ 10. 「ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置(黄ランプ点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠危険

●警報音が鳴り始めたらすぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

●換気をせずにガス機器を使用しつづけると、一酸化炭素濃度が上昇し短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

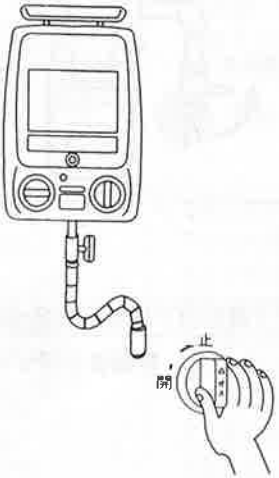
●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス機器の使用を止めてください。

止める



3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りのガス事業者へご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

●ガス機器以外の燃焼機器が原因で鳴る場合もありますのでこれらの機器も点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠危険

●一酸化炭素濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

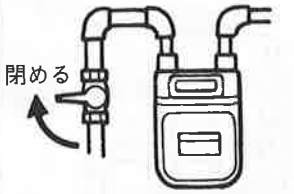
●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

外から開ける

2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

閉める

■不完全燃焼ガスが規定のガス濃度以下になった場合

●ガスが規定のガス濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、黄ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

11. ガスもれの音声警報と不完全燃焼を知らせる音声警報を交互に発している場合の処置（都市ガス警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯）

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠危険 火花などによる爆発または一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。

禁止

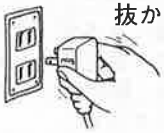
換気扇のスイッチ等

警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。

禁止

コンセント

抜かない



●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2. ガス機器の使用を止めてください。
ガス栓、器具栓を閉めてください。

閉める

3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りのガス事業者へご連絡ください。

連絡する

4. もれたガスや不完全燃焼ガスが規定のガス濃度以下になれば警報音は自動的に止まりますので、止まってから警報が鳴る原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

調べる

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠危険

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合または、一酸化炭素濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーターガス栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

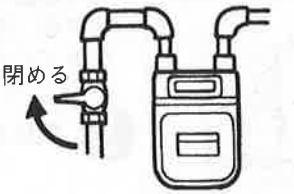
●次の処置をしてください。

1. 部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気してください。

外から開ける

2. ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

閉める



3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、ガス栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

閉める

■ガスが規定のガス濃度以下になった場合

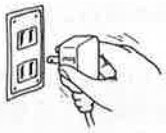
●ガスが規定のガス濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤と黄ランプが消灯し、緑ランプのみの点灯となります。

■12. 警報器のお手入れ方法

⚠注意

●警報器の表面および取付け部付近の壁面がよごれたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから必ず抜き取ってください。

プラグを抜く



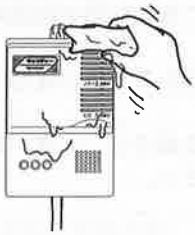
お　願　い

●お手入れをされる場合は、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからよごれをふき取ってください。

よく絞ってからふく

●お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。

禁止



●警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく都市ガス警報ランプ（赤ランプ）が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

禁止

■13. アフターサービス

お　願　い

●この警報器は、5年間の無償保証付です。ただし、保証書裏面記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。

●この警報器の有効期間は、お取付け後5年間です。
有効期間とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取替えください。

※有効期間を経過した警報器は、ガス事業者が引き取って適切に処理いたします。
ガス事業者にお渡しください。

●保証書に取付け年月日および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。

●保証書は大切に保管してください。

●アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者または、最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問合せください。

●警報器の有効期間を過ぎたときは、ガス事業者にご連絡ください。

●作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。

●転居する場合は、お買い求めのガス事業者に連絡し、警報器の扱いについてご確認ください。

14. 仕様

項目		仕様	
ガスもれ・不完全燃焼警報機能	対象ガス	都市ガス 空気より軽い12A・13Aガス用 空気より軽いガス用　兼用	不完全燃焼排気ガス中の一酸化炭素
	警報ガス濃度	低濃度 *爆発下限界濃度の約1/100以上	低濃度 一酸化炭素濃度 50～300ppm
		高濃度 爆発下限界濃度の1/4以下	高濃度 一酸化炭素濃度 550ppm以下
	検知方式	接触燃焼式	半導体式
	警報方式	低濃度 赤ランプ点滅（自動復帰式）	低濃度 黄ランプ点滅 約5分後危険と判断し、音声合成音（自動復帰式）
		高濃度 赤ランプ点灯 音声合成音（自動復帰式）	高濃度 黄ランプ点灯し 音声合成音（自動復帰式）
		音声合成音は音声確認ボタンにより音声とブザーの選択ができる	音声合成音は音声確認ボタンにより音声とブザーの選択ができる
	応答速度	60秒以内	低濃度 10分以内 高濃度 5分以内
	外部出力信号	監視時 DC 6V 電源OFF時 0V 故障時 0V	
		警報時 DC 12V	警報時 DC 18V
共通仕様	警報音量	70dB以上／m	
	電源	AC 100V 50/60Hz	
	消費電力	監視時 約2.4W 警報時 約2.8W	
	付属回路	通電初期警報防止用約1分間タイマー付	
	使用温度範囲	0℃～＋50℃（結露しないこと）	
	寸法・質量	125 × 85 × 51 mm 約330g	
	電源コード	長さ 2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能） 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は1490W以下）	
	付属品	取扱説明書（保証書）、取付け木ネジ16mm（2本） コード振れ止め（3コ）、コード振れ止め用木ネジ10mm（3本）	
	ケース材質	PC樹脂（自己消火性）ABS樹脂（自己消火性）	

★爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。
その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

＊マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

施工される方および警報器をご使用になる皆様へ

■施工される方へのお願い

⚠警告

1. お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。 必ず行う

2. 工事終了後に、取扱説明書に従って、作動点検を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。 必ず行う

3. 工事終了後に取扱説明書に従って、次の事項をお客様に説明してください。 必ず行う

(1) 警報器の内容の説明（警報ランプ点灯と音声合成音）
- ① 都市ガス警報
- ② 不完全燃焼(CO)警報
- ③ 都市ガスと不完全燃焼(CO)の同時警報
- ④ 故障表示
- ⑤ 音声確認ボタンの操作

(2) 警報時のとるべき措置
- ① 都市ガス警報時（部屋にいなかった場合を含む）
- ② 不完全燃焼(CO)警報時（部屋にいなかった場合を含む）
- ③ 都市ガスと不完全燃焼(CO)の同時警報時（部屋にいなかった場合を含む）

(3) 警報器に異常が発生した場合の措置（緑ランプ点滅が60秒以上継続した場合）

■15. 設置前のご注意

●警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。

■警報器の確認

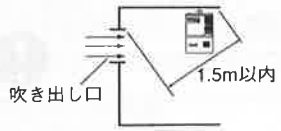
⚠注意	
1. 取付ける警報器が使用するガスと合っているか確認してください。 本警報器は空気より軽いガス12A・13Aガス用又は 空気より軽いガス用です。	必ず行う
2. 本体、電源コード等に異常のないことを確認してください。	必ず行う
3. 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意してください。	
4. 有効期限を本体底面の有効期限シールに記入してください。	必ず行う

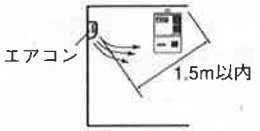
16. 取付け位置の確認

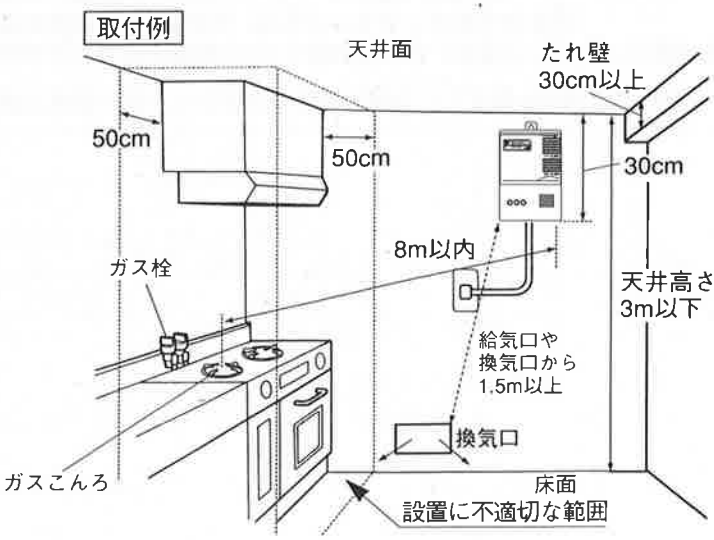
●取付け位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠注意

1. 都市ガス、不完全燃焼(CO)を検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置してください。 — 必ず行う
2. 都市ガスや不完全燃焼(CO)ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けてください。 — 必ず行う
3. 都市ガス、不完全燃焼(CO)を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離8m以内、天井面から30cm以内としてください。 — 必ず行う
4. 天井面に接近して取付けると、天井面が黒ずむ場合があるので、警報器の底面から天井面までの距離が20cm以上～30cm以内になるように取付けてください。 — 必ず行う
5. アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないでください。 — 禁止
6. 換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないでください。 — 禁止







床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7m以下）

※取付けおよび取付け位置の移動はガス事業者におまかせください。

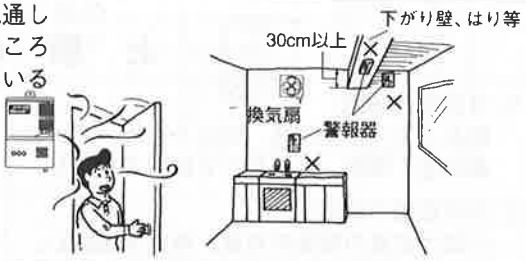
⚠注意

次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

●換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ
●30cm以上の下がり壁で区切られているところ
●エアコン等の吹き出し口の近く

禁止

警報が遅れたり検知できないことがあります。



●燃焼器具などの排気、湯気、油煙などおよび調理用アルコール蒸気が直接かかるところ

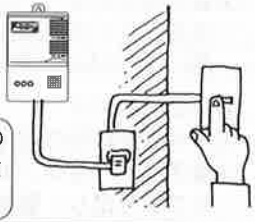
禁止

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

●使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ）

禁止

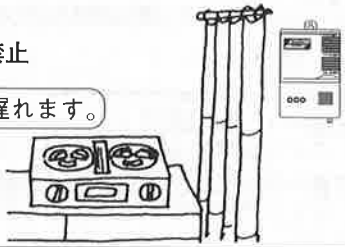
警報器としての機能を果たしません。



●カーテンウォールなどで仕切られるところ

禁止

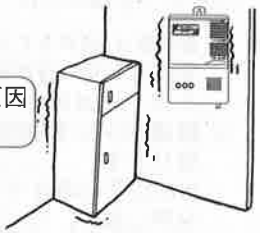
警報が遅れます。



●振動、衝撃の激しいところ

禁止

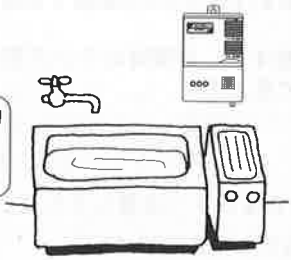
センサ故障の原因になります。



●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ

禁止

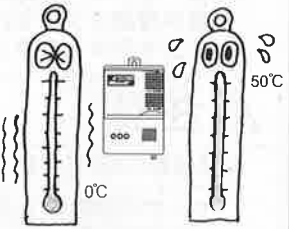
感電や電気的故障の原因になります。



●温度が0℃～＋50℃の範囲をこえるところ

禁止

警報器としての機能を果たしません。誤動作の原因になります。



●屋外

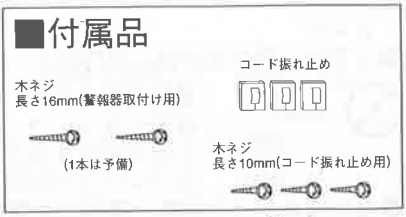
禁止

屋外用ではありません。

■17. 取付方法

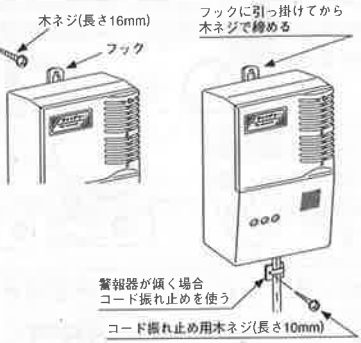
お　願　い

1. 付属品の確認
   部品イラストや写真、図などを用いて、付属品名、個数、用途などを確認すること。

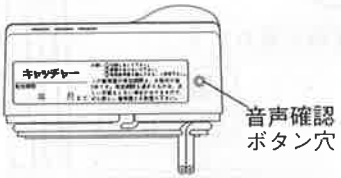


2. 取付位置の確認
   (1)取付位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板等には取付けないこと。
   (2)壁がコンクリートの場合は、振動ドリルでドリリングのうえ、カールプラグ(市販品)を打ち込み、木ネジを使用すること。

3. 警報器の取付け
   (1)木ネジを壁面の途中までネジ込みます。
   (2)電源コードをコンセントまでの長さに合せて取り出し、警報器のフックを木ネジに引っ掛けます。
   (3)木ネジを締め付け、警報器を固定します。



   ※ 警報音は、音声またはブザーの選択ができます。
   警報器下面の音声確認ボタン穴より、ボールペン又は細長いドライバー等で音声確認ボタンを連続して5秒以上押すと切替ります。
   (5秒以下の場合では、音声メッセージを発声します)
   (初期設定は音声になっています)
   (ブザー設定した場合でも、停電等で電源がOFFすると音声警報に戻ります)
   (注)音声確認ボタンを過大な力で押さないでください、破損する場合があります。



   ※ 音声メッセージ確認機能
   音声確認ボタンを2～3秒間押した後離すと、警報時のランプ表示、および警報音を発声し音声メッセージ確認ができます。

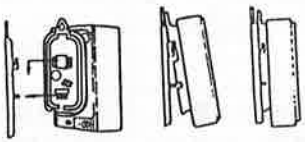
⚠注意

(4)警報器の取付け時には、警報器を落とさないよう注意してください。
センサの断線等で正常に作動しないおそれがあります。

更新取付け等、従来の取付板に取付ける場合

取付板の上の引っ掛け部を、警報器背面に引っ掛けた後、取付板下の固定凸部に警報器を押し付けるようにして食い込ませ固定します。

警報器が確実に固定されているかどうかを確認してください。



上を引っ掛けてから下の突起を押し込む

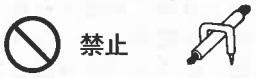
⚠注意

4. 配線方法

(1)電気設備技術基準および内線規定により電源コードは、ステップルや釘等で固定しないでください。

(2)電線の上に重いものを置かないでください。

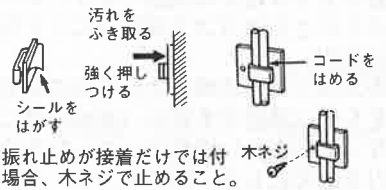
■電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘等で固定できません。



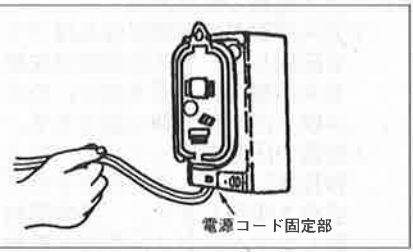
お　願　い

(3)電源コードは、付属のコード振れ止めで固定すること。なお、コード振れ止めが接着だけでは付かない場合は、木ネジで止めてください。

● 電源コードは付属のコード振れ止めで固定してください。



(4)電源コードは、コンセントまでの長さにあわせて取出し、電源コード固定部に固定してください。



(5)外部装置との接続方法

外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に従って工事を実施してください。

■18. 作動点検

お　願　い

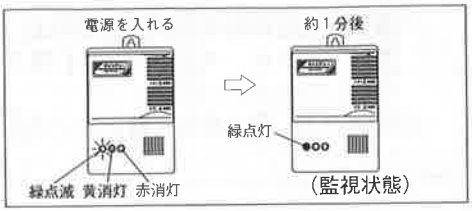
●都市ガス警報、不完全燃焼(CO)警報機能の作動点検時には、ガス採取器（別売品）とガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意してください。

従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガスは使用しないでください。センサ異常又は鳴り止み期間が長くなる可能性があります。

禁止

○都市ガス警報点検の場合

1. ガス警報器の電源プラグをコンセントに差し込みます。電源ランプ（緑）が点滅し、約１分後に点滅から点灯にかわり、警報器が監視状態に入ります。（約１分後に赤ランプが点滅している場合がありますが、しばらくすると消灯します。）

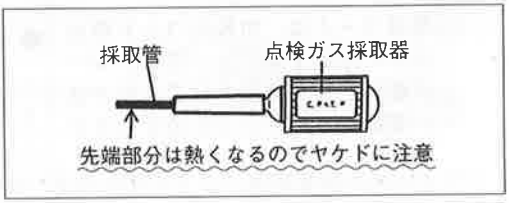


※警報器が異常になると、緑ランプが早い周期の点滅になります。最寄りのガス事業者にご連絡ください。

必ず行う

2. 周囲に引火物などが無いことを確認してからガスコンロを点火し、炎の高さを５cm程度に調整します。炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。

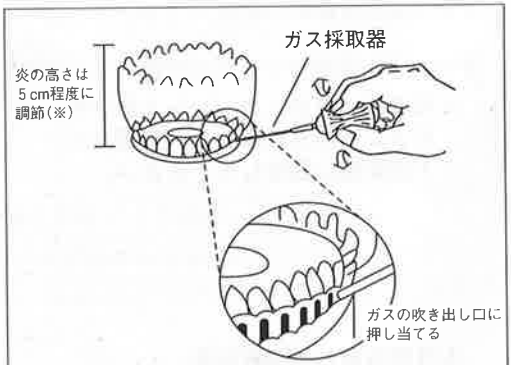
※ガスコンロの種類により、炎の高さを５cmに調節できない（５cm未満になってしまう）場合は、コンロの火力を最大にしてください。



●都市ガス警報の点検方法

(1)ガス採取器の容器部分を指で十分圧縮して、ガス採取管の先端を炎芯部（炎の根本部分）のガス吹き出し口に押し当てます。

(2)容器の圧縮をゆっくりと（約３秒程度）緩め、炎の中からガス成分を吸引します。（長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります）点検ガスの採取が終わりましたら速やかにガス採取器をガスコンロの炎から離して、ガスコンロの炎を消してください。



都市ガス警報点検の場合

(3)ガス採取管の先端部分の温度が下がるまで、約25秒程度待ちます。
(ガス採取管の先端部分は熱くなっており、冷まさずに警報器に押しあてて点検すると、警報器のケースを溶かしたり、傷がついたりします。必ず約25秒間以上冷ましてから点検してください。)

(4)ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかり押しあてて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約3秒程度）注入します。

(5)ガスを注入してから約10秒後に次のように警報することを確認してください。
- ガス濃度が低ければ、赤ランプが点滅（緑ランプは点灯）します。
（低濃度の注意報）
- ガス濃度が高ければ、赤ランプが点灯（緑ランプは点灯）し、警報音（ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか）が鳴ります。
（高濃度の警報）

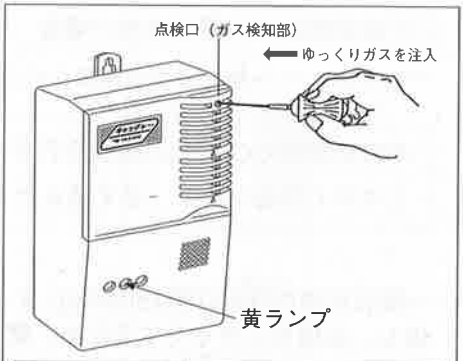
※音声確認ボタンによりブザー設定にした場合（ピッピッピッピッ）のみの警報が鳴ります。
もし、上記の作業を行い、監視状態から約1分たっても上記の警報がない場合は、もう一度同様の手順でガスを注入してください。

3. ガスが規定のガス濃度以下になると、赤ランプは消灯します。

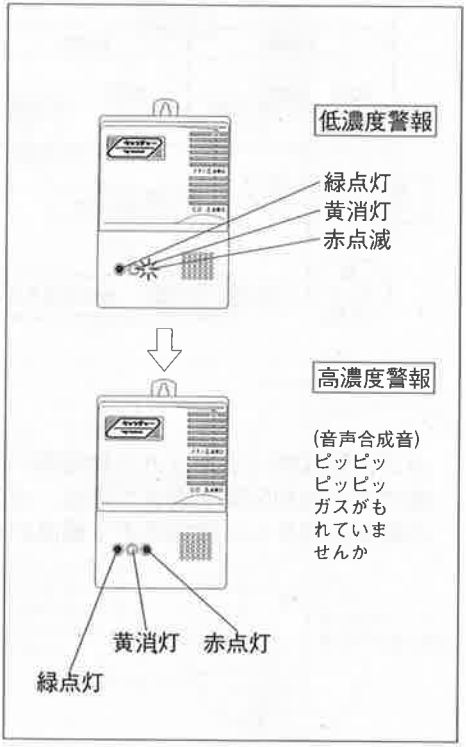
※点検作業中、黄ランプが点滅することがありますが、正常ですので作業を続けてください。

⚠警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。　禁止



⚠注意	炎から出した直後の採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

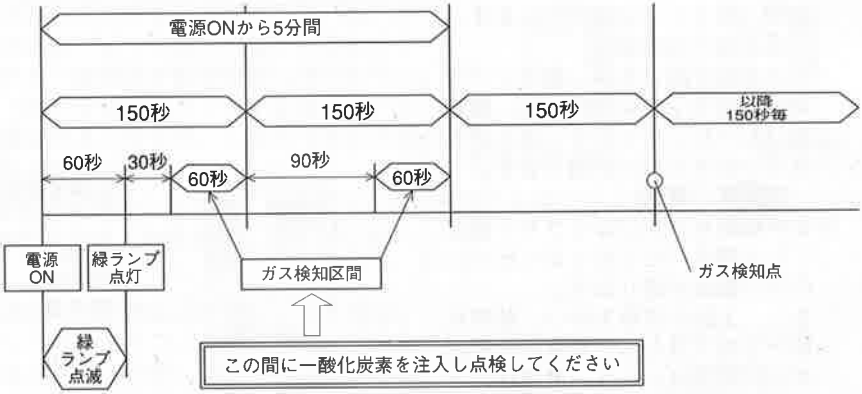


○不完全燃焼(CO)警報点検の場合

ーはじめにー 一酸化炭素の検知タイミングについて

不完全燃焼(CO)警報の点検を行うときは、点検をしやすくするために、必ず読んでください。 **必ず行う**

一酸化炭素の検知は約150秒毎になっています。
但し、点検をしやすくするため、電源を入れてから2サイクル（5分間）は各サイクルの90秒経過後から60秒間を検知区間としこの間に点検ガスを注入すると警報しやすくなります。



ガス検知区間（またはガス検知点）で警報判定を行っているため、警報状態でガス検知区間を過ぎた場合、ガスが規定のガス濃度以下になっても次の検知区間または検知点まで最高210秒間警報し続けることがあります。

1. 電源コードのプラグを抜いて、電源をOFFにし、再度コンセントに差し込んでください。緑ランプが点滅していることを確認してください。

2. 電源ONしてからガス検知区間に入るまでの90秒間に以下の手順でガスを採取してください。ガス採取器（別売品）とガスコンロなど検知対象ガスの炎からガスを採取できるものを用意します。

(1)ガスコンロを点火し、炎の高さを5㎝程度に調整します。炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。

※ガスコンロの種類により、炎の高さを5㎝に調節できない（5㎝未満になってしまう）場合は、コンロの火力を最大にしてください。

(2)ガス採取器の容器部分を指で十分圧縮して、ガス採取管の先端を炎の高さの真ん中の位置へ持っていきます。炎の中へは、ガス採取管の先端5～10㎜の部分が赤黄色になる程度にしてください。

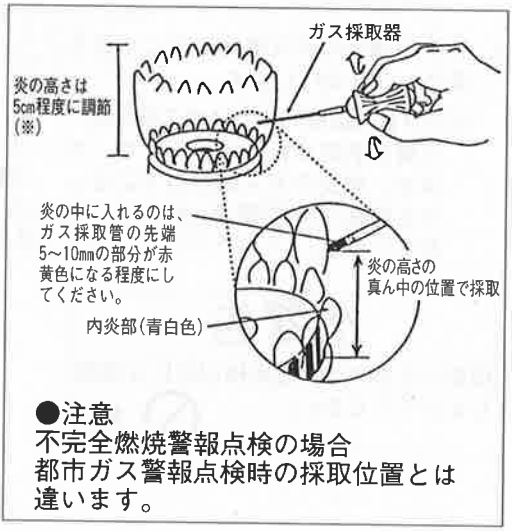
(3)容器の圧縮をゆっくり（約3秒程度）緩め、炎の中からガス成分を吸引します。(長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります）点検ガスの採取が終わりましたら、速やかにガス採取器をガスコンロの炎から離して、ガスコンロの炎を消してください。

(4)ガス採取管の先端部分の温度が下がるまで（約25秒程度）待ちます。（ガス採取管の先端部分は熱くなっており､冷まさずに警報器に押しあてて点検すると、警報器のケースを溶かしたり、傷がついたりします。必ず約25秒間以上冷ましてから点検してください。）

電源を入れる

約1分後

(監視状態)



●注意
不完全燃焼警報点検の場合
都市ガス警報点検時の採取位置とは違います。

(5)ガス検知区間になったら（電源ONしてから90秒または240秒経過後）ガス採取管の先端を警報器のガス点検口にしっかり押しあてて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約3秒程度）注入します。

(6)ガスを注入し次のように警報することを確認してください。

・ガス濃度が低ければ、黄ランプは点滅（緑ランプは点灯）します。(低濃度の注意報)
点滅が約2秒続くと警報音(「ピッポッピッポッ空気がよごれて危険です 窓を開けて換気してください」)が鳴ります。(低濃度の警報)

・ガス濃度が高ければ、黄ランプが点灯（緑ランプは点灯）し、警報音(「ピッポッピッポッ 空気がよごれて危険です 窓を開けて換気してください」)が鳴ります。(高濃度の警報)

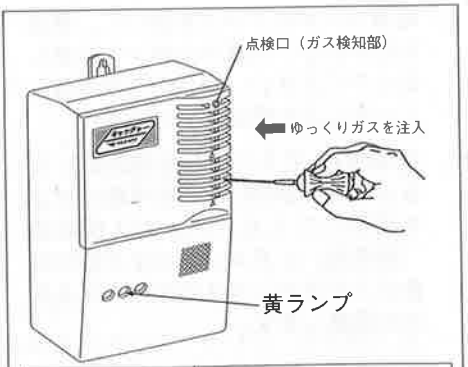
※音声確認ボタンによりブザー設定にした場合（ピッポッピッポッ）のみの警報が鳴ります。
もし、上記の作業を行っても上記の警報がない場合は、もう一度同様の手順でガスを注入してください。

3. ガスが規定のガス濃度以下になると、黄ランプは消灯します。

※ガス検知区間（またはガス検知点）で警報判定を行っているため、ガスが、規定のガス濃度以下になっても最高210秒間警報し続けることがあります。

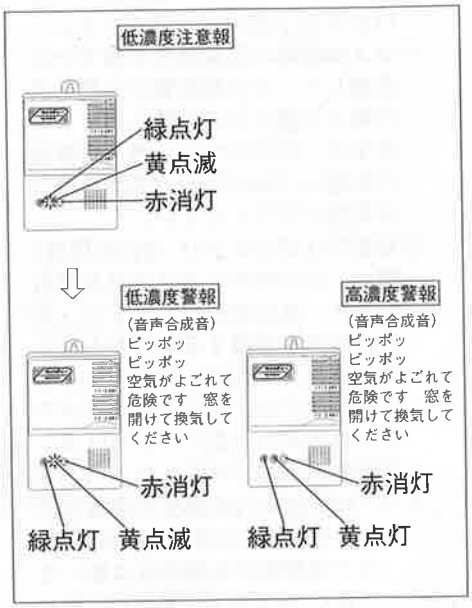
⚠警告

採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。 禁止



⚠注意

炎から出した直後の採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。



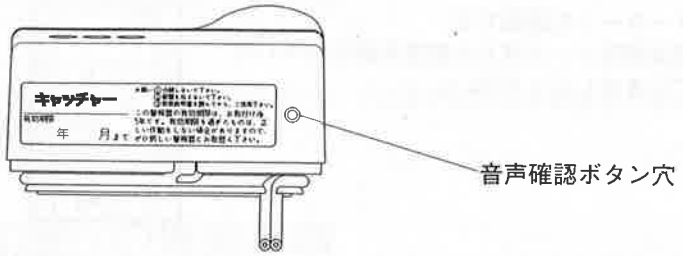
○音声確認ボタンによる警報ランプと警報音の確認

音声確認ボタンを一時的にONすることによって警報ランプと警報音の確認を行うことが出来ます。

(1)警報器下面の音声確認ボタン穴より、ボールペン又は細長いドライバー等で音声確認ボタンを連続して2～3秒間押した後離してください。

(2)警報ランプと警報音の確認が始まります。

(注)音声確認ボタンを過大な力で押さないでください、破損する場合があります。



●確認時は下記の順で警報ランプの表示、警報音声(ブザー設定時はブザー音)を発声します。

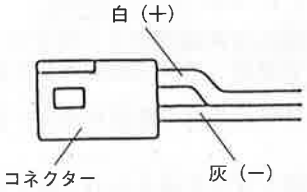
ステップ	音声内容	ランプ	
		都市ガス	CO
1	ピッピッピッピッ　ガスが漏れていませんか ●ブザー設定時は　ピッピッピッピッ（連続）となります	点滅	
2	ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください ●ブザー設定時は　ピッポッピッポッ（連続）となります		点滅

※ 音声はそれぞれ1回ずつ発声します。
※ 点検中は電源ランプ(緑)は点灯です。
※ 各ステップは約8秒間で切替ります。
※ この機能は初期遅延中および監視中に行うことができます。
※ 外部出力は監視状態です。

■外部装置と接続した場合の注意点および点検方法

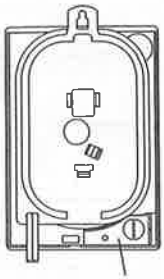
●外部装置と接続した場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。

●都市ガス、CO警報外部出力(コネクター)は有電圧出力ですので、外部装置と接続する場合は注意してください。

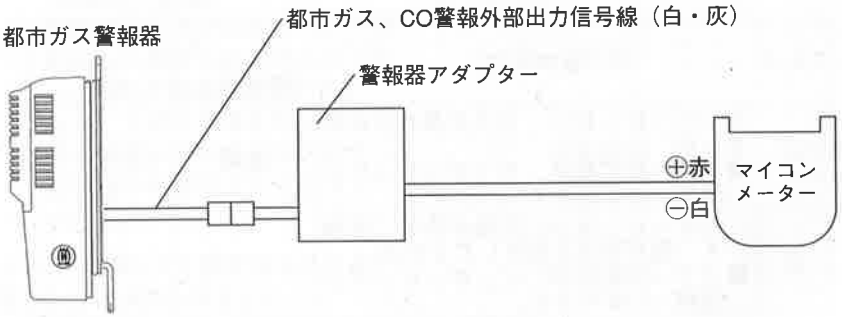


●マイコンメーターとの連動方法

①外部装置接続用リード線を外部信号線収納カバーを外して引き出してください。

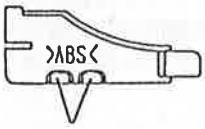


②外部装置と接続します。



③収納カバーのリード線引出部を切り取り、そこからリード線を引き出してください。

④収納カバーはケースに確実に取付けてください。



■お客様へのご説明内容

1. 警報点検結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
   (1)都市ガス警報の内容(赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時のとるべき措置の説明。
   (2)不完全燃焼(CO)警報の内容(黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と警報時のとるべき措置の説明。
   (3)都市ガス、不完全燃焼(CO)の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
   (4)部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。
   (都市ガス、不完全燃焼(CO)警報時)
   (5)予備コンセントの容量上限値について。
   (6)誤報が発生する場合。
   (7)警報器に異常が発生した場合(緑ランプ点滅が60秒以上継続した場合)と、とるべき措置の説明。
   (8)音声確認ボタンの操作。

■お客様への周知事項

お　願　い
●お客様に次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。 1. 保証期間5年。 2. 警報器の有効期間を知らせる。(本体に表示) 3. 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱うこと。 4. 警報器の移設禁止。(移設依頼の連絡先) 5. 警報器の分解禁止。 6. 引越時の措置。 ❗ 必ず行う

■施工される方へ

●有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について－

・一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。
一般廃棄物として焼却処理した場合、有害ガスが発生する恐れがある材料が本製品には含まれています。

・決められた処理ルートがある場合は、それに従って処理してください。

保証書

製品名　都市ガス・CO警報器　　**キャッチャー**

このたびは、都市ガス・CO警報器 **キャッチャー** をお買上げいただき、まことにありがとうございます。

この保証書は、本製品の保証期間内において取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本書記載内容にて無償点検あるいは、無償取替えを行うことを、お約束するものです。

型式	家庭用・業務用兼用 **YF-760(MC)**　空気より軽い12A・13Aガス用 空気より軽いガス用　兼用
製造番号	
お取付け年月日	年　月　日
保証期間	お取付け年月日より　5年間
お客様	〒 ご住所 お名前 電話　(　)
販売店	住所・店名 電話　(　)

矢崎エナジーシステム株式会社

発売元及び製造元

発売元(本社)
〒108-8333 東京都港区三田1丁目4番28号三田国際ビル17F
製造元(天竜工場)
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111
(お問合わせ先)ガス機器事業部
〒431-3312 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4511

YAZAKI

(次ページもご覧ください。)

保証規定

1．表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検あるいは、無償取替えをいたします。

2．次のような場合には、保証期間内でも有償点検あるいは、有償取替えとなります。

① 本製品に異常が認められない場合。

② 取扱説明書に基づかないで使用し、故障または損傷した場合。

③ 火災・天災・異常電圧・異常温度等の不可抗力による破壊または損傷。

④ 取付位置が浴室・屋外・高温多湿等著しく不適当な場所で使用した場合の故障または損傷。

⑤ お買上げ後分解や改造等をされた場合の故障または損傷。

⑥ 取付後の取付場所の移動、落下等による故障または損傷。

⑦ 水や煮こぼれ等の液体、または動植物による故障または損傷。

⑧ 本保証書のご提示がない場合。

3．本書は日本国内のみにおいて有効です。

4．なお、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

●本警報器の保証期間はお取付け年月日より５年間です。
警報器は保安機器であり、お取付け後５年を過ぎたものは、是非新しいものとお取替えください。

お取替え予定日　　年　　月　　日

矢崎エナジーシステム株式会社

お客様ご相談窓口

ガス機器事業部		053(925)4511
[北海道]	札幌	011(852)2914
[東北]	仙台	022(284)9114
[関東]	東京	03(3298)3110
	埼玉	048(654)0822
[中部]	名古屋	052(833)8414
	静岡	054(283)1151
[関西]	大阪	06(6458)8185
[中国]	広島	082(568)7802
[四国]	高松	087(833)3335
[九州]	福岡	092(411)4834

※機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス事業者、
または最寄りのお客様ご相談窓口にご相談ください。
なお、当社ホームページにおいてもご案内申し上げております。
URL：http://www.yazaki-group.com
※電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

R100 当紙配合率100%再生紙を使用しています
2012.06
766831-3-988